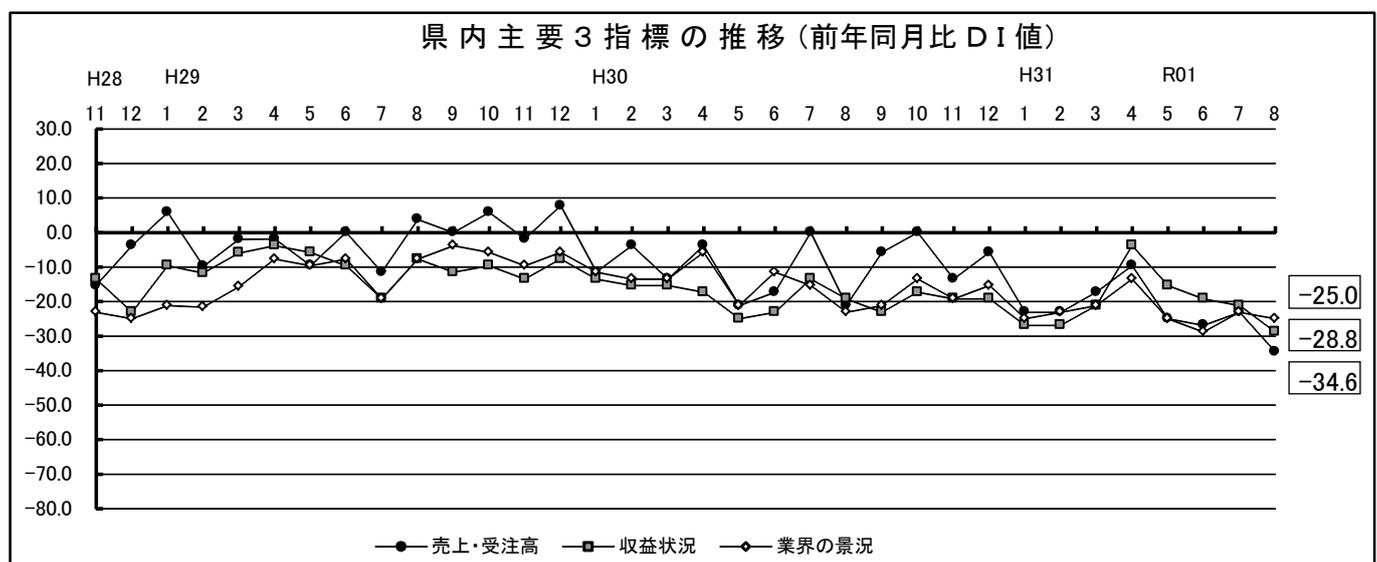


中小企業団体情報連絡員報告結果(令和元年8月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 8月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中2指標が上昇し、7指標が下降した。主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも下降した。
- 例年になくお盆休みの長期化による就業日の減少や台風・曇天等の天候不順により、売上高の減少及び収益状況の悪化を招く結果となり、景況感も停滞した。
- 消費増税に伴う軽減税率の導入に際して、現場での運用上の混乱が生じている。また、増税前の駆け込み需要は一部業種で見られるが、全体としては盛り上げに欠ける状況である。
- 米中貿易摩擦等の影響による円高傾向や国内消費の低迷、外注費の増加など、先行き不透明感を懸念する声も多い。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-34.6	-11.5	-26.0	-3.1
収益状況	-28.8	-7.6	-27.3	-2.1
業界の景況	-25.0	-1.9	-30.6	-2.2

売上・受注高

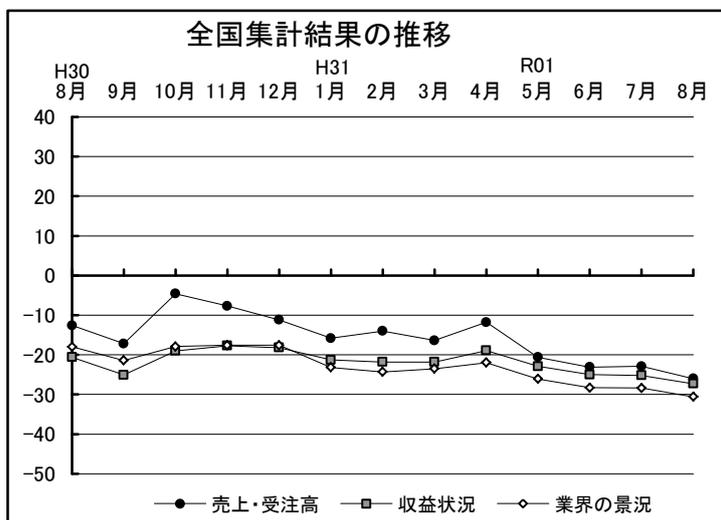
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より11.5ポイント下降し、-34.6ポイントとなった。全国においては、前月より3.1ポイント下降し-26.0ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.6ポイント下降し、-28.8ポイントとなった。全国においては、前月より2.1ポイント下降し-27.3ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント下降し、-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より2.2ポイント下降し-30.6ポイントとなった。



-概 況-

8月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「在庫数量」「雇用人員」の2指標が上昇し、「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の7指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」「収益状況」「業界の景況」いずれも下降し、それぞれ-34.6ポイント、-28.8ポイント、-25.0ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中1業種が上昇、5業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇した。「収益状況」は製造業で7業種中3業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、1業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、1業種が下降した。

長期化したお盆休みによる就業日減少や度重なる天候不順等の影響により全体的に業況が停滞したほか、消費増税が目前に迫り現場では軽減税率への対応に不安が残るなど、先行き不透明感が漂っている。また、増税後に関して、製造業においては受注減の傾向となる懸念が、非製造業においては高値傾向での市況推移による消費減となる懸念があり、引き続き先行きを注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	×	×	△	×
繊維・同製品	×	×	△	△	×	×	△	△	△
木材・木製品	×	△	△	△	×	△	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	○	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	×	△	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	×	△	△	△	×	△	△	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	○	△	—	△	○
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	25.0	25.0	-25.0	-75.0	-50.0	-50.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-50.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	-50.0	-25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-75.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	50.0	-25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
製造業	-48.0	-16.0	0.0	-8.0	-36.0	-20.0	-20.0	-4.0	-40.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	/	0.0	0.0
小売業	-71.4	-14.3	14.3	-28.6	-57.1	-42.9		0.0	-42.9
サービス業	-33.3		-16.7	-16.7	-66.7	0.0		0.0	-33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-20.0	0.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-22.2	-10.0	0.0	-11.1	-22.2	-11.1	-3.7	-11.1	
全体	-34.6	-14.3	0.0	-9.6	-28.8	-15.4	-20.0	-3.8	-25.0

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	前月 比
売上高	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-11.5
在庫数量	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	5.7
販売価格	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	-5.8
取引条件	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-3.8
収益状況	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-7.6
資金繰り	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-3.9
設備操業度	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-16.0
雇用人員	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	2.0
業界の景況	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-1.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	75.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-100.0	25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-75.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0
製造業	-32.0	8.0	-8.0	-4.0	-12.0	-8.0	-16.0	-4.0	-12.0
卸売業	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	14.3	14.3	14.3	-14.3	0.0	0.0		14.3	14.2
サービス業	0.0		-33.4	0.0	-50.0	0.0		33.3	0.0
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-20.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	7.4	0.0	-3.7	-3.7	-3.7	-3.7		7.4	7.4
全体	-11.5	5.7	-5.8	-3.8	-7.6	-3.9	-16.0	2.0	-1.9

特記事項

情報連絡員報告（令和元年8月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	10月の消費税増税に伴う軽減税率の導入に際して、現場では運用上の不安がある。様々な対応策があるようだが、中小規模の小売店で効果があるかどうかは疑問である。
酒類製造業	普通酒の販売数量減少に歯止めが効かない。10月の消費税増税に伴う軽減税率に関してどれが対象品目となるのか現場は混乱している。
縫製業	昨年より仕事量が少ない状況である。9月分の生産を前倒しで8月に行っている事業所が多い。また、10月の消費税増税によりますます生産が減少する傾向にある。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	本格的な夏の前の動きは若干鈍い程度だったが、冷夏による多方面での消費の冷え込みがこれから影響してくると予想している経営者が多い。新シーズンに向けては、変わった素材への要望が多いと感じている。
建具製造業	猛暑と就業日減少（働き方改革や山の日の影響）により各事業者ともに苦戦している。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	鉄鋼向けは昨年並みに推移した。肥料関係は若干の減少傾向にあるが、消石灰の需要が増えたため昨年並みとなった。建材関係は5月以降出荷が伸び悩んでいたが、8月に入って時期ずれによる出荷が増えてきた。全体的には昨年を上回る結果となった。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少し、それに伴い収益状況がやや悪化した。しかし、企業間格差があり、一様に収益状況悪化というわけではない。業界全般で景況悪化懸念があるため、今後の動向を注視しながら対応していく必要がある。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	一部企業に好況なところがあるものの、全体的には停滞状況が続いており、好転する気配が感じられない。また、落ち込み幅が大きく、資金繰りに苦勞している事業者が多い。これは、政治的要因が大きく影響しているように思われる。
各種商品卸売業	業況良好とする企業があるが、逆に悪化とする企業もあり、業種によって格差がある。全体としては大きな業況変化はない。
食肉小売業	米中貿易摩擦の影響もあり、日本の食肉の価格は円高傾向にあるうえ、国内の消費が落ちてきている。原料安により何とか利益を確保している状況である。
中古自動車小売業	消費税増税前の動きは悪い。

各種商品小売業	全店舗共に前月に引き続き大変厳しい月であった。催事等は天候に恵まれ前年を上回る人出があったが、消費には結びつかなかった。
各種商品小売業	全体として客数は前年を下回ってしまったが、高価格帯の店舗に関しては総じて売上が良く、トータルでは前年同月比を上回ることができた。しかし、裏を返せば客数に依存せざるを得ないサービス系の店舗は非常に苦しい状態が続いており、客数の底上げが喫緊の課題となっている。
花・植木小売業	お盆商戦は期間を通して小売りは良く動いたが、暑さのため花の開花が全体的に前進傾向で、盆入り前には品薄高値相場となり、仕入に苦慮した。8月後半も台風の影響や曇天続きによる日照不足の影響で、市場では引き続き菊類を中心に品薄感が強く、高値傾向での市況推移となった。
理容業	ここ数ヶ月、組合員の減少が落ち着いてきている。しかし、後継者問題は依然として解決に至らないので、引き続き対応策を検討する必要がある。
自動車整備業	お盆休日の影響があり、売上が大きく減少した。基本料金や工賃単価の見直しを検討している。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率は5月の大型連休後から低下しているが、8月はスポーツコンベンション、ビジネス、お盆中の観光などにより高稼働率で推移した。宴会に関しては例年通りであった。お弁当やケータリングなどが前年と同様に前年対比で大きく減少した。飲食店利用に関しては5月の大型連休明けからの利用控えがそのまま続き、若干回復したものの未だ鈍い動きである。
ビルメンテナンス業	スポット業務の受注が増える一方、外注費も増加したため、収益性は低下傾向にある。
給食センター	4月1日から産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費の高騰や最低賃金引上げなどで厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益も良くなると思われる。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは31%増、敷物用ラベルは12%増、壁装用ラベルは19%減であった。
一般貨物自動車運送業	長いお盆休みの影響で稼働日数が少なく、売上が減少し、収益状況も厳しい状況である。
貨物軽自動車運送業	お盆中の配送のうち食品関係が増加した。お盆明けも受注量が全体的に増加し、配車に苦労した。新聞、マスコミ等の報道のとおり、消費税増税前の消費に対する動きが大きい結果となった。
一般乗用旅客自動車運送業	酷暑や急な天候の悪化等に伴い、近距離、遠距離、昼夜を問わずタクシーの利用があったため、売上が増加した。
大谷石採石業	お盆休みが長かったこともあり、景況は下降傾向であった。組合としては今後宇都宮駅東口の整備に伴う発注が予想されるため、多少の明るさはある。